



池田SGI（創価学会インターナショナル）会長は昨年12月7日、横浜市の神奈川池田記念講堂を視察した後、神奈川文化会館を訪れた。山下公園、横浜ベイブリッジ、そして、創価学会と同じ1930年に生まれた氷川丸の雄姿――。

世界広布の未来を心に描きつつ、いくたびかカメラに収めた景色が、眼前に広がっていた。

そして真情をつづった。「今こそ夜明けだ。黎明だ。出航の汽笛も高らかに、希望の銅鑼を轟かせ、立派に育った後継の人材群

と、心新たに船出しよう！」

人類の「希望の大船」学会丸は、創立85周年を勝ち飾り、「世界広布新時代 拡大の年」へ帆を揚げる。さあ、我らも出航だ。師と共に、世界の同志と共に、平和と人生勝利の大航海へ！

池田名誉会長

光の言葉
幸福の曲

前へ！人生勝利の 大航海を

聖 教 新 聞

2015年(平成27年) 12月27日(日)



神奈川の第3回「創価同窓の集い」に出席し、未来っ子と握手を交わす池田SGI会長。知性を磨き、たくましい行動力で勝利の人生を切り開くよう望んだ（1990年4月、神奈川文化会館で）

困難にあっても、
自分こそが
人生の「主役」である、
「主人公」である、
「英雄」であると決めて、
前へ前へ進むことである。
妙法の人生を
生き抜いていくかぎり、

すべてが開ける。
すべてが乗り越えられる。
そして、すべての悩める人々を
救ってあげる。
「信心」強き皆さまこそ、
真の英雄である。
現実の課題、具体的な目標——

その一つ一つのハードルを
越えながら、
「一生成仏」という
永遠の凱旋のゴールに向かって、
前へ前へと走り続けていく。
ここに、最も有意義で、
最も価値ある
人生の軌道がある。

仏の生命とは、
勇気を奮って、
来る年も来る年も、
元初の決意をもって、
厳然と戦い勝ちゆく法理である。
戦いがあるから、人は
自己の建設と、
境涯を開くことができる。
そこに、限りなく広げられた
幸福の大海原が待っているのだ。

未来志向——
これが妙法である。
「現在から未来へ！」と、
現当二世で進みたい。
戦う人生は若い。
理想を目指す人生は若い。
いわんや
「不老不死」の妙法である。
広宣流布へ、
我らは永遠に、
若々しく進もう！